

Plan                      Do                      Check                      Action

	プラン(9月) ○身に付けたい力・具体的な方策	評価・改善(2月)
小 中 一 区 貫 に お 携 へ る 取 組 推 進	<p>○地区内の小・中学校間で、授業参観を含めた研修会を行う。授業内容、指導計画、学力調査結果等を共有するとともに、課題の明確化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会では各教科や分掌の分科会で、各校の指導計画、課題の明確化等、具体的に情報の共有をする。</li> <li>○小中9年間継続し、基礎・基本の学力の定着を図る。</li> <li>・小学校、各学年での基礎・基本的な取組を受けて、復習確認テストをおこなう、南塾との連携、家庭学習の推進等、各学年の実情に即した指導を工夫する。</li> <li>○学習規律の確立と定着</li> <li>・チャイム2分前着席、忘れ物をしない、提出物の確認等、生徒の自主的な活動も含め定着させていく。</li> <li>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に行う。</li> <li>・朝読書、教科、図書館活用による読書の定着をさせる。</li> </ul>	<p>○小中連携研修会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会では、中学校の授業参観。各教科、分掌の分科会で、各校の指導計画、課題の明確化、具体的な授業内容や、生活指導等の情報共有を行った。</li> <li>○小中9年間継続し、基礎・基本の学力の定着を図った。</li> <li>・特に数学で小学校からの習熟度指導を継続し学力の定着を図った。また地域で実践している協同的探究学習等も取り入れ各学年の実情に即した指導をした。学力テストでは○学習規律の確立と定着させた。</li> <li>・チャイム2分前着席は生徒活動に取り入れ定着させることができた。忘れ物、提出物について、家庭の協力も得ながら、今後さらに改善したい。</li> <li>○言語活動の力を定着させるため、読書活動を積極的に行った。</li> <li>・朝読書、教科、図書館を活用し、読書時間が定着した。</li> </ul>
国 語	<p>○漢字や語彙力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリルや小テストを繰り返すことで、さらなる定着を図る。</li> <li>・言い換えられる言葉や類義語を理解させる。</li> <li>○論理的文章への関心やその読解力を身につける。</li> <li>・辞書を引き機会を増やして読み、作文・ミニ作文を通して自分を表現する際にも辞書を活用させる。</li> <li>・新聞や文献、資料の活用などを通して横断的に読解させる。</li> <li>○コミュニケーション能力を身につける。</li> <li>・班学習を取り入れるなど、授業形態を工夫して伝え合う場面をつくる。</li> <li>・スピーチで自らの考えを述べるとき、根拠を明らかにさせる。</li> <li>○ふさわしい表現で書く力を身につける。</li> <li>・文章を書くときに、話し言葉と書き言葉を区別させて取り組ませる。</li> <li>・言葉や内容についてよく調べさせ、よりよい表現のためにじっくりと取り組む環境を整える。</li> </ul>	<p>○基礎的な漢字を身につけさせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難易度別になっているテキストで学習した上で、漢字の小テストを定期的に行って定着を図った。</li> <li>・語彙を身につけさせる学習は、辞書を用いての意味調べに留まっていることが多い。</li> <li>○論理的文章の読解力向上に努めた。</li> <li>・説明文、物語文を通して文章構成の理解を深められるように図った。</li> <li>・古典の内容を把握させるために資料を活用したが、新聞を活用する機会はほとんどつれなかった。</li> <li>○班学習やクラスでの発表する活動に取り組ませた。</li> <li>・文章理解や文法の理解の際に班学習を行い、コミュニケーションを図りながら探求する活動に取り組ませた。</li> <li>・ビブリオバトルなどクラス単位で発表させる際に、根拠を示しながら発表させた。</li> <li>○短文作りで表現を考えさせた。</li> <li>・敬体もしくは常体で統一させて、文章を書き上げるよう指導に努めた。</li> <li>・調べた言葉を用いて短文作りをし、適切な表現について考えさせたが、原稿用紙で書く際の指導までにはあまり繋がれなかった。</li> </ul>
数 学	<p>○基礎・基本の定着。全体のレベルの向上。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校より継続している、個々の力を伸ばす少人数制習熟度別指導の充実を図る。</li> <li>・夏季休業中や定期考査前に補充授業を行い、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・小テストの実施で、前回までの復習と定着の確認をする。</li> <li>○家庭学習をする習慣化。</li> <li>・ノート・ワーク等を定期的に回収し、生徒の理解度や習熟度を把握すると同時に家庭学習の習慣づけを支援した。</li> <li>○数学的な物の見方や考え方を身に付ける。</li> <li>・身近なところに数学があることに気付かせるような具体例を紹介する。</li> <li>・一つの解法だけでなく、複数の解法を考えさせる。</li> <li>・問題演習の時間を確保し、じっくりと文章を読み、論理的問題を読み取る力を身に付けさせる。</li> <li>○授業への意欲をもって自ら学ぶとする力。</li> <li>・学習活動の個別化を図るために、授業で使用する教材の内容を精選し、効果的に関心・意欲・態度が高まる教材を導入していく。</li> <li>・問題の内容の理解を高めるよう図解などの工夫をする。</li> <li>・少人数授業を展開する上で、教員間の連携を密にとり教材を共有するなどの工夫をする。</li> <li>○数学的な表現力を付けることで、自分の考えを他の人に示す力。</li> <li>・発問を多く取り入れて生徒参加型授業を実践する。</li> <li>・少人数制習熟度別指導の利点を生かし、自分の考えを発表する機会を増やす。</li> <li>・グループ学習を活用する。</li> </ul>	<p>○基礎・基本の定着、全体のレベルの向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校より継続している、個々の力を伸ばす少人数制習熟度別指導を実施した。</li> <li>・夏季休業中や定期考査前に補充授業を行うなど、基礎・基本の定着を図るよう努めた。</li> <li>・小テストを実施し、前回までの復習と定着の確認をした。</li> <li>○家庭学習をする習慣化を図った。</li> <li>・ノート・ワーク等を定期的に回収し、生徒の理解度や習熟度を把握すると同時に家庭学習の習慣づけを支援した。</li> <li>○数学的な物の見方や考え方を身に付けられるよう努めた。</li> <li>・身近なところに数学があることに気付かせるような具体例を紹介した。</li> <li>・一つの解法だけでなく、複数の解法を考えられるよう、グループ学習を取り入れたり、生徒に解説させるなどの工夫をした。</li> <li>・問題演習の時間を確保し、じっくりと文章を読み、論理的問題を読み取る力を身に付けさせるよう努めた。</li> <li>○授業への意欲をもって自ら学ぶとする力身に付けた。</li> <li>・学習活動の個別化を図るために、授業で使用する教材の内容を精選し、効果的に関心・意欲・態度が高まる教材を導入した。</li> <li>・問題の内容の理解を高めるよう図解などの工夫をした。</li> <li>・少人数授業を展開する上で、教員間の連携を密にとり教材を共有するなどの工夫をした。</li> <li>○数学的な表現力を付けることで、自分の考えを他の人に示す力を身に付けるよう指導した。</li> <li>・発問を多く取り入れて生徒参加型授業を実践した。</li> <li>・少人数制習熟度別指導の利点を生かし、自分の考えを発表する機会を増やした。</li> <li>・グループ学習を活用し、自分の意見を他の人に示しやすい雰囲気などをつくった。</li> </ul>
理 科	<p>○特に基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を復習する時間を授業で確保し、繰り返し指導する。</li> <li>・毎回の授業で課題を明確にし、それを意識させた授業を展開する。</li> <li>○課題に対し、自ら意欲的に学ぶとする姿勢を身に付けさせる。</li> <li>・実験・観察を多く取り入れ、より科学的に探究する力の基礎と態度を育てる。また、見ているだけで、取り組もうとしない生徒には巡回しながら、その生徒に何ができるかを具体的にアドバイスする。</li> <li>・レポートの書き方や実験の操作方法等の説明をする時間をより多く取り、より充実した実験・観察の時間を確保する。</li> <li>○実験観察の結果を考察し、自らの考えを導きだし、表現する力を育てる。</li> <li>・実験・観察の内容を考察する時間を多く取り、充実したものにする。またワークシート等の科学的思考を問う問題に重点を置いて取り組ませる。</li> <li>・実験・観察の結果のまとめ方、考察の仕方を身に付けさせるよう、ワークシート等を工夫し、自らの考えを表現させる機会を多くする。</li> <li>・とくに「読み解く力」の育成をねらった授業を実施する。具体的には、各学年でグラフを活用する授業を展開する。グラフを活用することにより、データや結果を考察して事物・現象の特徴や規則性などを推論することができるように指導する。</li> <li>・生徒による話し合い活動や発表活動などの「言語活動」を取り入れることにより、実験・観察への意欲を高め、科学的な思考力・表現力の育成を図る。</li> </ul>	<p>○副教材を用いて、単元ごとの復習に力を入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を復習する時間を授業で確保し、繰り返し指導した。</li> <li>○博物館と連携し、実物を見せるなどで単元の導入を工夫した。</li> <li>・実験・観察を多く取り入れ、より科学的に探究する力の基礎と態度を育てよう努めた。</li> <li>・レポートの書き方や実験の操作方法等の説明をする時間を多くとり、より充実した実験・観察の時間を確保できるように努めた。</li> <li>○ライティングシート等を用いて、自らの考えを導き出し、表現する力を育てようとしたが、言語活動の時間をほとんど取り入れられない学年もあった。</li> <li>・実験・観察の結果のまとめ方や考察の書き方を身に付けさせるよう、ワークシート等を工夫した。</li> <li>・ライティングシートを用いて、生徒による話し合い活動や発表活動などの言語活動をとり入れ、実験・観察への意欲を高め、科学的な思考力・表現力の育成を図った。</li> </ul>
社 会	<p>○社会的事象に関する基礎・基本的な内容の定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や電子黒板などの視聴覚教材を活用したり、定期的小テストや課題に取り組ませたりしながら基礎・基本的な内容が理解できるよう工夫する。</li> <li>○学んだ知識や資料を活用して、地理的・社会的な視点で課題を捉える力を養う。</li> <li>・地図帳、資料、表やグラフなどを積極的に活用し、資料から読み取れることや資料から見えてくる社会的思考を、既習した学習も踏まえて考えさせるような場面をつくる。</li> <li>○社会的事象に対する思考・判断・表現力を高めさせる。</li> <li>・課題を個別や集団で考えるような場面をつくり多様な意見をもとに学び合い活動を進めたり、レポート作成などをさせるなど言語活動を活用しながら力をつけさせていく。</li> </ul>	<p>○社会的事象に関する基礎・基本的な内容の定着を図るための取り組みをおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板や視聴覚教材を活用したことで、学習内容に対する興味、関心を高めたり、理解を促すことへつながった。生徒からも視聴覚教材を継続して使ってほしいという意見が多かった。</li> <li>・学年によって小テストの実施にバラつきがでた。できるだけ多く小テストを実施し、基礎・基本の定着へつなげていく。</li> <li>○学んだ知識や資料を活用して、地理的・社会的な視点で課題を捉える力を養う取り組みをおこなった。</li> <li>・単元に応じて必要となるグラフ、図表、資料の活用をすることができた。グラフの作成や資料の読み取り等での課題が見られるので、今後も資料を活用する学習をできるだけ多く取り組む。</li> <li>○社会的事象に対する思考・判断・表現力を高めさせる取り組みができた。</li> <li>・生徒同士が学びあうような場面をつくり授業を進めることができた。発表やレポート作成での言語表現に課題がある。説明に必要な語句を意識したり、相手が理解できるような表現について考えさせたりするような場面を今後増やしていく。</li> </ul>

	プラン(9月) ○身に付けたい力・具体的な方策	評価・改善(2月)
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」や「書くこと」を通して、自己表現力を高める。</li> <li>・スピーチの原稿を作成し、英語で発表する。</li> <li>・ALTを活用し、ALTと会話したり、インタビューしたりする。</li> <li>○基礎基本の定着を図る。</li> <li>・クイズ形式、ペアワーク、音読や問題演習など、さまざまな活動を通して学習に取り組ませる。</li> <li>・チャンツ(英文をリズムに合わせて歌うように読むもの)を定期的に行い、学習事項を定着させる。</li> <li>○語彙力の向上を図る。</li> <li>・毎学期スプリングコンテストを実施する。</li> <li>・ペアワークによる単語の学習を継続的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」や「書くこと」を通して、自己表現力を高めることができた。</li> <li>・テーマに沿ってスピーチの原稿を作成し、英語で発表させた。発表にジェスチャーや絵、実物を見せるなど、発表の仕方も工夫させた。</li> <li>・ALTを活用し、会話テストやインタビューテストを行った。</li> <li>○基礎基本の定着に努めた。</li> <li>・クイズ形式、ペアワーク、音読や問題演習など、さまざまな活動を通して学習に取り組ませることができた。生徒同士の活動は学び合いの場にもなるため、今後も取り組ませていく。</li> <li>・チャンツの練習を繰り返し行い、定着の確認としてテストを行った。</li> <li>○語彙力の向上に努めた。</li> <li>・毎学期スプリングコンテストを実施した。</li> <li>・ペアワークによる単語の学習を継続的にやり、単語の発音や意味を定着させることができた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な読譜力・音楽知識を身につける。</li> <li>・音楽の基礎・基本、楽譜の読み方を理解できるようワークシート等活用しながら知識・技能の習得を図り、合唱・合奏の実践に役立てる。</li> <li>・毎回の授業のはじめに課題を明確化し、終わりには自己評価カードを使用して、自分の考えを表現させ、評価させることにより、次の時間の指導につなげていく。</li> <li>○音楽に親しみ、進んで表現できる力、技能の向上。</li> <li>・CD・DVD等の音楽機器の使用、発声・パート練習方法の工夫を効果的にやり、関心意欲を高める。</li> <li>・全校行事等の表現活動を通し、仲間と音楽を創り上げる喜び、協力、充実感を学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な読譜力・音楽知識を身につけさせた。</li> <li>・音楽の基礎・基本、楽譜の読み方を理解できるようワークシート等活用した。</li> <li>DVD、CD等の音楽機器も使用し、理解を深める助けとした。</li> <li>・毎回の授業のはじめに課題を明確化し、終わりには自己評価カードを使用して、自分の考えを表現させ、評価し、今後の改善につなげた。</li> <li>○音楽に親しみ、進んで表現できる力、技能の向上。</li> <li>・CD・DVD等の音楽機器の使用は理解を深める助けとなった。</li> <li>発声・パート練習では、グループ活動も効果的に取り入れた。</li> <li>・全校行事が成功することにより、仲間と音楽を創り上げる喜び、協力、充実感を学ばせることができた。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術を愛好する心と基礎知識を身に着けさせる。</li> <li>・身近な素材や具体的な例を取り上げ、美術を身近に感じることができるよう工夫する。また、実技を実演したり、映像や写真などを見せる指導を多く取り入れる。完成までの過程の楽しさに気づかせる。</li> <li>○実技を通じて、判断力や決断力、自分で考える力に気づかせる。</li> <li>・要求された課題に対して、自分で考える場面を増やし、人を頼らないで自分で考える練習を多くする。そのために、適宜、声をかけ、意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術を愛好する心と基礎知識を身に着けさせた。</li> <li>・身近な素材や具体例を取り上げたことで、わかりやすく取り組みやすかった。また、実技に関しては、写真などの映像資料の活用、実演を見せるなどの視覚的なアプローチがうまくいった。</li> <li>○実技を通じて、判断力や決断力、自分で考える力に気付かせることがおおむねできた。</li> <li>・目標とする到達点を具体的に示し、自分で考える場面を増やした。また、人に頼らないで自分で考えるようにという指示や助言を、適宜できた。ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいると答えている。</li> </ul>
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1人1人の技能の定着。</li> <li>・生徒の様子を記録し、苦手意識をもっている生徒に励ましの言葉、助言をかける。</li> <li>○目的をもって作品を製作する力。</li> <li>・授業毎の課題を明確にし、自分で考えて作業をする力を身につけさせる授業にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の技能を定着させることができた。</li> <li>・生徒1人1人に寄り添い、個々の能力に応じて助言をしながら、作品を完成させることができた。また、作品を完成させる過程で知識とともに技能を定着させた。</li> <li>○目的をもって作品を製作する力をつけることができた。</li> <li>・どの生徒も作品にこだわりを持って製作に取り組めた。積極的に授業を受けることができた。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ほとんどの生徒が授業規律を守り、積極的に授業に取り組むことができる。また、運動技能面では、能力の高い生徒が各単元で存在し、その生徒がリーダーとなって他の生徒の活動を助け、ともに活動を楽しむことができる。</li> <li>・他の生徒やリーダーから教え合うことにより、自ら考え実践できる能力を身につける。</li> <li>○運動が苦手な生徒に、運動の喜びや楽しさを味わわせるようにすること。</li> <li>・学習カードなど使用し、運動の記録を取り、自らの運動技能の現状や向上を実感できるようにすることで、運動の喜びや楽しさを味わわせるようにする。</li> <li>○自ら課題を見つけ、その課題に一生懸命に取り組む、実践できる力を付ける。</li> <li>・集団行動を通して、授業規律を確立させる。</li> <li>・毎時、課題を明確にして、どのように取り組むのか理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概ね充実した学習活動を展開することができた。体育委員が中心となって、また上級生が手本となって、学校全体を通じた規律ある体育授業が行えているので、継続して発展させていきたい。</li> <li>○視覚的な教材の積極的な活用を図り、より具体的なイメージを生徒が持てるような取り組みを作っていく、また体育科全員でローテーションし、システムを構築できるようにしていく</li> <li>○継続していく</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題を発見し、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題解決する資質や能力を育てること。</li> <li>・調べ学習のための調べ学習を地図、図書室等しながら身に付けさせる。</li> <li>○学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができること。</li> <li>○積極的に地域や社会との連携を図り、ふれあいや交流ができること。</li> <li>校外学習・移動教室・修学旅行・職場体験等を通じて社会や人々とのふれあい、交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年全体の校外学習等とリンクしながら、個々の生徒がそれぞれに追究したい課題を設定し、調べ学習に取り組むことができた。</li> <li>○地域の方々から直接お話を聞いたり、作業の指導をしていただく中で、働くことの意味、地域社会の役割、日本の伝統文化などについて考察を深めることができた。</li> <li>○PCの台数などの制約から、学校でPCを利用して調べ学習を進める機会が多くは持てなかった。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の人の立場を尊重しながら思いやりの心をもって接する態度を育てる。自分の所属する集団の在り方を十分理解し、自己の役割と責任を自覚するとともに協力し合って集団生活の向上に努める。</li> <li>○ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合い高め合うことのできる人間関係を育てる。不正を憎み、不正な言動を断固として否定することにより、差別や偏見のないよりよい社会の実現に尽くすように努める。</li> <li>○世界的な視野をもち、外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念を重視し、世界の平和と人類の幸福に貢献するように努める。</li> <li>・文科省、東京都、町田市の教材を利用し、集団で互いの意見を出し合い、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文科省、東京都、町田市の教材を利用し、学校行事や学年の特別活動と適切に関連させながら、適切にテーマ設定をすることができた。</li> <li>○クラス内での集団討論等やワークシート記入等を適切に行い、社会規範に関する意識を高めることができた。</li> <li>○本校生徒の活動の実態に合わせて活用したが、教材が多い関係でそれぞれのよさを十分に活用しきることはできなかった。</li> </ul>

を家庭で学習するための充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストのための、学習予定表の作成、「学習の記録」を通して、振り返り、結果のお知らせ、等を各家庭と共有をし、状況の把握、課題の明確化、改善をはかる。</li> <li>・忘れ物をしない、提出物を出す、宿題等の状況を、保護者会、面談で共有し、課題の明確化、改善をはかる。</li> <li>・放課後学習の時間は、南塾も利用した補助学習の取組を行う。</li> </ul>
---------------	---